

夢は叶う

天草工業高校（亀場町）
2年 久保光由

天草工業高校では、体育系、文化系などさまざまな部活動ががんばっています。中でも陸上競技部は、インターハイのリレー種目に学校として初めて出場しました。決まった瞬間は「まさか自分たちが」という思いでした。沖縄で行われたインターハイでは、4人でバトン継ぎ、悔いのない走りをする事ができました。

選手全員が天草地区の中学校出身で、中学時代からライバルどうしの関係であり、切磋琢磨してこれまでがんばってきました。「天草工業高校で陸上をして良かった」と本当に思います。天草地区の高校でもがんばれば“夢”を叶えることができます。



▲左から3年の浦部幸二さん、松本拓也さん、池本淳司さん、2年の久保光由さん

ぼくのわたしの学校部活自慢



▲練習に励む部員たち

剣道で学んだことをいかしたい

栖本中学校（栖本町）
3年 井立周作

栖本中学校剣道部は、郡市中体連3連覇を目標にして、日々練習に励んできました。暑い中の練習で集中力が切れやすい時期でしたが、きつい練習にも必死にくらいついていきました。キャプテンとして引っ張っていくのはとても大変でしたが、監督、コーチをはじめ、青志会やOBの先生方のご指導の下、目標の中体連3連覇を達成することができました。来年は、4連覇を目標に1・2年生たちにはがんばってほしいと思います。3年生は試合が終わりましたが、剣道をしていて礼儀をはじめ、さまざまなことが身についたと思います。今後、剣道を通して学んだことを、学校生活や社会でいかしていきたいです。

平成21年度に地域住民が主体となって作成した地区振興計画。倉岳町内の3地区振興会すべてに新しく盛り込まれたのが、「ふるさと家族便」への取り組み。この取り組みは、地元でとれる新鮮な魚・野菜・特色ある加工品を出産者に届ける宅配便事業で、農家の所得向上など、地域が少しでも活性化するように企画したものです。倉岳まちづくり協議会では、この事業への取り組みのきっかけとして、天草町・下田南地区振興会の西嶋隆明さんをお迎えして、地域づくり講演会を開催し、同地区振興会が実施している「ふるさと家族便」について学びました。その後、さっそく事業の実施に向けて各種団体の代表者による検討委員会を発



▲検討委員会のような

地域づくりコーナー

人が動く 地域が動く 天草が動く

倉岳の味を出産者に届ける 「ふるさと家族便」への取り組み

倉岳まちづくり協議会（会長 高田 護）

足。年間を通じていろいろな事項を検討しながら、事業の実施に向けた体制づくりを整えることにしています。来年度には倉岳町版の「ふるさと家族便」がスタートして、昔懐かしい故郷の味として出産者などに喜ばれ、将来的には地域活性化の事業として定着してくれればと願っています。

宝島の健康 よろず屋

藤川フイノさん
（新和町小宮地・79歳）



◆毎日の楽しみは？

ゲートボールとグラウンドゴルフが楽しみです。練習のときには、友だちと世間話をしたりしています。地域の人たちとのふれあいを大事にしながら、毎日を楽しんで過ごしています。

◆健康の秘けつは？

日々の食生活に気をつけていて、油っこいものはあまりとらないようにしています。また、自分の畑で無農薬の安全な野菜を作っていますが、体を動かすことにより足腰の鍛錬にも役立っています。



森田裕幸さん（河浦町今富・21歳）

剣道で地域貢献できればと思い、河浦中学校剣道部の指導をしています。団体出場ぎりぎりの5人の部員しかいませんが、今年は個人戦で県中体連出場を決めた生徒もいて、とてもうれしく思っています。これからも、中学生にがんばることのすばらしさを教えていきたいです。

地域との交流をめざして

清涼保育園（五和町）

清涼保育園（上杉タツ子園長・全園児23人）は、お寺の境内の大きな木々に囲まれた環境の中で、園児が元気いっぱいに遊んでいます。先日、「夕涼み会」を実施しました。小学生を招待し、中学生にはお店屋さんごっこに入ってもらい交流を深めました。絵本の読み聞かせの人にプレーメンの音楽隊の劇を演じていただき、みんな大喜びでした。また、フリーマーケットもあり、父母や祖父母、地域の人たちの参加のもと、大盛況にて終了しました。これから町民・小学校・保育園の合同運動会もあります。いろいろと体験する中で、人とのふれあいを大切に、明るく思いやりのある子どもに育てて欲しいと願っています。



地域のみなさんと交流を深めました

このゆびとくまれ



プールが大好きな、さくら・まつ・たけ組の子どもたち

“人生の幹”をはぐくむために

あまつけ保育園（牛深町）

あまつけ保育園（吉川英之園長・全園児27人）は、子どもたちが明るく健やかな心に成長することを目標に、現在はプール遊びなどで毎日楽しく過ごしています。子どもが成長し、おとなになってからもいかなるような“人生の幹”をはぐくんでいこうと、茶道などを通して礼儀作法や団体行動を行いながら人格形成を旨とする保育に取り組んでいます。

どんな子どもでもすばらしい可能性を秘めています。その可能性は、自分の心を育てることでは発見できません。心を育てることは自分の意志を育てることです。子どもたちが、人生をどのように創造していくのか、これから楽しみです。

